

経営改善計画書(令和2年度～令和4年度)

団体名	一般財団法人鳥取市教育福祉振興会
-----	------------------

様式2

現状と課題	管理するいずれの施設も老朽化が進んでおり、大規模修繕の発生が予想される。特に所有施設は、耐震基準を満たしておらず、建て替え、取り壊し、譲渡などを検討しなければならない。保有資産、業務内容など、これからの社会情勢にマッチする法人のあり方について、対策を講じなければならない。
経営方針 (令和4年度目標)	指定管理施設を含めた11施設がそれぞれに挙げている最終目標値を達成し健全な運営を継続する。

視点	4年度目標 (期間内の最終目標)	年度	実行計画		実績G7:K9		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント
			取組内容	目標値	取組状況	実績値		
経営改革 (財務面での長期見直し)	借入を行わず、運営を行う。	2年度	自己資本比率を健全な状態に保つ。	自己資本比率 70%以上	借入を行わないよう経費削減に努めた。	88.2%	目標は達成出来ているが、より高い割合を目指す。	経費節減に努め、健全な運営が行われている。固定比率の低減について引き続き取り組みを進めていただきたい。
			固定比率を低く抑える。	固定比率 100%以下	固定資産の寄附を検討中。	106.1%	固定資産を減らすことで、固定比率を減少。	
		3年度	自己資本比率を健全な状態に保つ。	自己資本比率 70%以上	借入を行わないよう経費削減に努めた。	87.0%	目標は達成しているが、より高い割合を目指す。	
固定比率を低く抑える。	固定比率 100%以下		鳥取市東コミュニティーセンター(山の手会館)を鳥取市に無償譲渡。	106.5%	引き続き固定資産を減らす取り組みを進めていく。			
4年度	自己資本比率を健全な状態に保つ。	自己資本比率 70%以上	借入を行わないよう経費削減に努めた。	86.2%	目標は達成しているが、より高い割合を目指す。			
	固定比率を低く抑える。	固定比率 100%以下	鳥取市津ノ井体育館を鳥取市に無償譲渡を進めている。	107.3%	引き続き固定資産を減らす取り組みを進めていく。			
組織改革 (組織見直し、人材育成)	管理運営施設の維持	2年度	職員の資格取得などを推進。	随時	職務上有効な資格を優先し、チャンスがあれば取得を推奨。	危険物取扱者乙種四類の取得。あいサポート研修、舞台技術研修など受講	職員の資質を向上させ、組織力の向上が図れた。	積極的な人材育成と新たな事業の取り込みにより、主な業務である施設の管理運営は高いレベルを保っている。また、自主事業においても様々な取組が行われている。
			新たな事業の検討。	随時	指定管理以外にも、市のソフト事業の受託に努めた。	引き続き尚徳大学、市民大学、ファブラボ鳥取を受託。	指定管理のみならず、新たな事業展開を行うことが出来た。	
		3年度	職員の資格取得などを推進。	随時	職務上有効な資格取得や各研修会に参加。	乙種第4類危険物取扱者・二級ボイラー技士の取得、女性リーダー育成セミナーなど各研修会へ参加	職員の資質を向上させ、組織力の向上が図れた。	
新たな事業の検討。	随時		指定管理以外にも、市のソフト事業の受託に努めた。	引き続き麒麟のまちアカデミー(尚徳大学ほか)を受託。新たに次世代育成支援事業を受託。	指定管理のみならず、新たな事業展開を行うことが出来た。			
4年度	職員の資格取得などを推進。	随時	職務上有効な資格取得や各研修会に参加。	第三種冷凍機械責任者の取得、安全衛生推進者養成講習、防火管理講習ほか受講	職員の資質を向上させ、組織力の向上が図れた。			
	新たな事業の検討。	随時	指定管理以外にも、市のソフト事業の受託に努めた。	引き続き麒麟のまちアカデミー(尚徳大学ほか)、次世代育成を受託。	指定管理のみならず、新たな事業展開を行うことが出来た。			
公益増進 (顧客サービスの向上、社会貢献)	施設の利用率向上	2年度	全施設が共通認識を持ち、管理運営施設の利用促進	幹部会 月1回	各施設の利用状況や自主事業、問題点を幹部会で報告、検討	幹部会 毎月1回実施	各施設の新たなサービス、問題点等を協議し、減免制度の拡充、感染症対策など、サービスの向上を図ることが出来た。	多くの施設を管理する中で、それぞれの取り組みや課題が情報共有され、対応が行われており、管理施設全体のサービス向上につながっている。
			ホームページによる情報発信を継続し、SNSを活用した情報発信を新たに組み込み、利用促進を図る。	随時	法人の管理する全施設を網羅したホームページで施設紹介。フェイスブック、インスタグラムなどのSNSを立ち上げ情報発信に務めた。	前年比、ホームページアクセス数 各施設平均5.1%増	施設のリアルタイムな情報発信を行い、各施設の存在と魅力UPが図れた。	
		3年度	全施設が共通認識を持ち、管理運営施設の利用促進	幹部会 月1回	各施設の利用状況や自主事業、問題点を幹部会で報告、検討	幹部会 毎月1回実施	各施設の新たなサービス、問題点等を協議し、利用促進チラシの作成、感染症対策など、サービスの向上を図ることが出来た。	
ホームページ、SNSによる情報発信を継続し、利用促進を図る。	随時		法人の管理する全施設を網羅したホームページで施設紹介。フェイスブック、インスタグラムなどのSNSによる情報発信に務めた。	前年比、ホームページアクセス数 各施設平均5.7%増	施設のリアルタイムな情報発信を行い、各施設の存在と魅力UPが図れた。			
4年度	全施設が共通認識を持ち、管理運営施設の利用促進	幹部会 月1回	各施設の利用状況や自主事業、問題点を幹部会で報告、検討	幹部会 毎月1回実施	各施設の新たなサービス、問題点等を協議し、ホームページの充実、感染症対策など、サービスの向上を図ることが出来た。			
	ホームページ、SNSによる情報発信を継続し、利用促進を図る。	随時	法人のホームページソフトをリニューアルし、管理する施設を網羅したホームページの充実を図った。また、フェイスブック、インスタグラムなどのSNSによる情報発信に務めた。	前年比、ホームページアクセス数 各施設平均26.3%減(年度中途でのリニューアルのため統計不可)	施設のリアルタイムな情報発信を行い、各施設の存在と魅力UPが図れた。			